

兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(マガキ) KD-30-44号

平成30年12月12日発行

プランクトン及び貝毒検査を12月10日～12日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

- 【概況】・貝毒検査(12/12)の結果、播磨灘(高砂・姫路・たつの・相生・赤穂)で採取したマガキから規制値(4MU/g)を上回る麻痺性貝毒は検出されませんでした。
・貝毒原因プランクトンの出現は低密度でした。

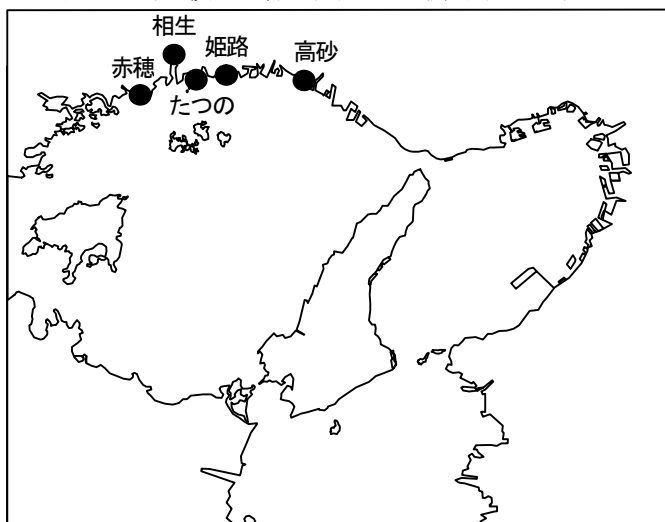
【検査結果】



年月日(採水・採取)	H30.12.10	H30.12.10	H30.12.10	H30.12.10	H30.12.10
地点(St.)	高砂	姫路	たつの	相生	赤穂
水温(°C)	15.5	14.0	14.1	13.1	12.8
塩分	31.2	31.4	31.8	31.5	31.3
貝類の毒化状況 〔マウスユニット/g〕	麻痺性貝毒 3.5	2.3	ND	ND	2.7
麻痺性貝毒 原因プラン クトン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ) 0	0	0	0	0
	アレキサンドリウム <i>Alexandrium</i> spp. (個数/ℓ) 250	0	20	10	120
下痢性貝 毒原因プラ ンクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ) 0	0	0	0	0
	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ) 10	0	20	0	10

※NDとは、検出限界以下のことです。

※下痢性貝毒の検査は、兵庫県及び近隣府県の貝毒及びプランクトンの発生状況を考慮し必要に応じて適宜実施します。



<規制の基準>

可食部の毒量が
麻痺性貝毒:4マウスユニット/g
下痢性貝毒:0.16mg オカダ酸当量/kg } を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
アレキサンドリウム タマレンセ
Alexandrium tamarense 5,000 個数/ℓ以上
アレキサンドリウム カテナラ
Alexandrium catenella 50,000 個数/ℓ以上
- ・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50,000 個数/ℓ以上

【今後の情報予定】

- ・12月17日の週にマガキ(播磨灘)の調査を予定しています。調査結果がまとまり次第「貝毒情報」としてお知らせします。

§お問い合わせ先§ 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当:水産環境部 都倉・宮原)
Tel: 078-941-8602 Fax: 078-941-8604 Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>